



熊野市立五郷小学校

いさと小だより

学校づくりのテーマ「明日も来たいと思う学校」第10号 2020年12月23日



2学期を頑張り終え 明日から冬休みです

ついこの間まで朝霧がたちこめていたかと思うと、あっという間に落ち葉が霜で凍てつく寒さを迎えています。明日からはいよいよ冬休みです。子どもたちはワクワクしていることでしょう。

9月の交安・防犯教室と五郷地区合同運動会、10月の社会見学（熊野消防署・山崎運動公園・市立図書館）& 3校合同自然の家体験学習、11月の焼きいも集会& ドッジビー大会、12月の防災学習会が2学期の主な行事でした。子どもたちはどの行事でも積極的に活動し、特に運動会では大活躍し、先生たちも子どもたちと一緒に連日の練習・開催当日に取り組みました。どの行事も、子どもたちの活躍の場となり楽しい思い出になったことと思います。

今年度の2学期はまだまだ残暑の厳しい8月24日に始まりました。今は登下校には手袋が必要になっていて、4か月間で気候は大きく変化しています。



そんな中、子どもたちは新型コロナウイルス感染防止、併せてインフルエンザの予防も心掛けながら、勉強や運動に励み、互いに協力し合いながら学校生活を送ってきました。行事もさることながら、一日一日の積み重ねが貴重で、子どもたちの健やかな成長を育んできたと思います。

来たる2021年、このコロナ禍がいつまで続くのか分かりません。しかし、子どもたちには「新しい生活様式」を身につけながら一日一日を明るく元気に過ごして、健やかに成長できる年であってほしいと願っています。保護者の皆様にとりましても、幸多き年となりますようお祈りいたします。

皆様にとりまして よいお年をお迎えください

防災学習 タウンウォッチング&ハザードマップ作成

12月19日(土)には、全校で防災学習を行いました。今回は、通学路の一部を実際に歩いてみて危険箇所や危険なものに気付くタウンウォッチングです。キーワードは、「おちる」「たおれる」「くずれる」の3つです。

子どもたちは、普段何気なく見ている通学路の周りの様子を、この日は“身を守る目”で注意深く観察しました。先生からは、説明よりも自ら気付くための声掛けがなされていました。大きな電柱の高い所にあるバケツのような形をした容器の危険性に気付いた子がいました。古い石垣が崩れてくるかもしれないと考える子もいました。

学校に戻って、通学路の地図が示されて、「自分の家の場所にシールを貼ろう」「危険が潜んでいそうな写真をその場所に貼ろう」「地図記号から、自分の家の周りの地形を知ろう」そして「写真の場所や家の周りがある危険を見つけよう・自分を守る方法を考えよう」の5つの課題が、この日以降の活動として与えられました。

そして、週明けの月曜日。マップの前には、低学年の子の姿が見られました。声を掛けてみると、写真をここだと思ふ個所に張り付けたということでした。確かに、そこでであろうと思われる場所に写真があり、それぞれのお家のところにはオレンジのシールが貼られていました。ハザードマップも子どもたちが考えて、自分たちの手で着々と作られています。



令和3年(2021年)1月の予定



日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	金	元日 冬季休業日	18	月	
2	土		19	火	
3	日		20	水	学力向上支援事業研究発表会(午後)
4	月	仕事始め	21	木	
5	火		22	金	薬物防止教室:5・6年 奥地SC来校
6	水		23	土	
7	木		24	日	
8	金	3学期の始業式 11:15下校	25	月	
9	土		26	火	
10	日		27	水	
11	月	成人の日	28	木	
12	火	4限授業 13:00下校	29	金	
13	水		30	土	
14	木		31	日	
15	金		20日の「学力向上支援事業研究発表会」 他校の教員の方々にそれぞれの学級で、5限目の算数の授業を参観してもらうことになっています。		
16	土				
17	日				

来年度に向け 収穫祭・五郷学習の見直しを ~子どもたちに確かな力を~

今年度、コロナ禍に見舞われていろいろな行事を中止にする中、それぞれの行事の意義や実施方法について改めて検討する機会を持てました。行事を通して、子どもたちに豊かな心や様々な力が育まれていくことは言うまでもありません。どの行事にもそういう意義があります。しかし、中学校が休校になり、子どもたちの人数が少ない中で状況も変わってきました。一方で、子どもたちは、これまでの教科に加えて「教科としての道徳」や「外国語活動」においてももしっかり取り組まなくてはなりません。

まず、「収穫祭」ですが、地域の方々の大きな協力があった、7年にもわたって開催されてきました。そこには様々な成果があります。しかし、現状を見て総合的に考えたとき、収穫祭については大きな役割を果たしたとして、幕を引こうと判断しました。このことは、11月の学校運営協議会において委員のみなさまから理解をいただいたところです。学校では、秋に収穫を祝い、みんなで楽しむということでは、今年度の「焼きいも集会&親子レク」のようなものが、子どもたち自身の手でやれて親睦が図れるのではないかと考えています。

次に、五郷学習の「米作り」や「茶摘み」、「三ツロ山学習」についてです。これまで、全校で参加してきましたが、それを学習するにふさわしい学年に分けていこうと思います。例えば、米作りは5年生の社会科で学習しますから、毎年、高学年が米作りに参加し、その前後の学習を充実させていこうということです。参加する子どもの数が減ることで見目の寂しさはあると思いますが、「すべき学年」がしっかりと活動することで、充実が増すと思います。このことについても学校運営協議会でご理解をいただきましたが、お世話いただいている方々のご理解をいただくため、今後、お話しさせていただきたいと思っています。

- 収穫祭は、大きな役割を終えて、幕を閉じます。
- 五郷学習は、それぞれの学年に分けて、充実させます